演習Ⅰ

科目ナンバリング　SEM-301
必修　　2単位

小笠原　永隆

1. 授業の概要（ねらい）

本演習では、文化施設・歴史文化遺産等を主体とする地域資源を活用した観光地づくりを進めていくための調査、提案の方法を学びます。また、秋期の演習Ⅱと併せて受講する事で卒業論文執筆への足がかりにするとともに、グループを主体とする実地調査に基づく研究を通じて、コミュニケーション、表現、探求及び実践等の能力を高めることを目的とします。

本年度は、東京都多摩地区（ニュータウン地区及び周辺における観光を活用シアタシティプロモーション）、東京都八王子市（絹織物で栄えた都市の産業観光とMICE誘致）、静岡県富士宮市（柚野地区における史跡を活用した観光まちづくり）のいずれかを選択し、グループに分かれ、現地調査を交えた演習を実施します。なお、それぞれ実際に現地に数回行って、地域資源を活用した活動を実践している人々のお話をお伺い、活動現場を見学するだけでなく、その周辺を綿密に歩いて調査を進めていきます。そうすることで、現地の実態を最大限考慮し、歴史文化資源を活用した観光を基盤とする地域づくりの提案を行う力を身につけていきたいと思います。そして、どの地域を対象としても、グループ研究を主とし、メンバーとの討議を通じ、調整、コミュニケーション、プレゼン、企画・構想の各能力を高めることに主眼を置きます。

演習の参加者や対象地域の関係者と協議しながら、夏季休暇中に合宿を実施する予定です。合宿では、地域を研究活動で訪れる際の作法や地域でのものの見方等の演習を予定しているので、極力参加されることが望まれます。

2. 授業の到達目標

本演習の到達目標は主に以下の点です。

・自主的な課題設定及び問題解決能力を持つことができる。
・地域の実情について、さまざまな資料を収集し、分析する能力持つことができる。
・現地調査（フィールドワーク）の手順や能力を持つことができる。
・現地などで学外の方々と協調して調査を進める能力を持つことができる。
・グループワークにおいてメンバーがお互いに協力して調査、分析を進め、確実な成果を出すことができる。

3. 成績評価の方法および基準

演習系科目のため出席は必須です。評価はグループワークへの積極的参加の度合いが40%、学期内の発表の評価が30%、主体的なゼミ運営への貢献が30%の配分によって総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書
テキストは特に指定しませんが、演習を進めていく上で、以下の書物が参考になるでしょう。
参考文献
梶田真ほか編　2007.『地域調査ことはじめ』　ナカニシヤ出版
大下茂　2011.『行ってみたいと!と思わせる「集客まちづくり」の技術』　　学陽書房
菊地俊夫・松村公明編　2016.『文化ツーリズム学』　朝倉書店

5. 準備学修の内容

本演習は主に学外をフィールドとする演習です。したがって、学内とは異なり、個々のより強い責任とマナーが求められます。また、準備学習として、各地域の現状と課題、観光関連の取組事例などの基礎知識として身につけるため、資料研究に取り組む必要があります。なお、それぞれの地域についての知識などを事前に勉強しておく必要があります。

6. その他履修上の注意事項

春期間中に数回、現地調査を実施します。各地域の担当者は原則参加とします。そのための時間や旅費等が必要となるので留意して下さい。また、現地調査においては、長時間野外を歩くことになりますので、体調を整えておくことを心がけておいてください。

現地での活動をはじめ、ほとんどの活動はグループ単位が基本となります。メンバーがお互いに協力し、検討・実践することを徹底してください。現地調査を土台とした「思考」により、より実践的な「提案」ができることを目指し、卒業後に実社会の中で役立つ能力を身につけてほしいと思います。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション（LMSによるオンデマンド形式）
【第2回】　地域の歴史文化資源を観光活用する現場とその研究方法
【第3回】　研究テーマの選び方
【第4回】　グループ分けと研究対象地域の選定①
【第5回】　研究対象地域の選定②　※各グループその日の成果を発表する
【第6回】　研究対象地域の研究（現状と課題）①　※各グループその日の成果を発表する
【第7回】　研究対象地域の研究（現状と課題）②　※各グループその日の成果を発表する
【第8回】　研究対象地域の研究（現状と課題）③　※各グループその日の成果を発表する
【第9回】　研究対象地域の研究（歴史文化資源）①　※LMSによるオンデマンド形式で実施
【第10回】　研究対象地域の研究（歴史文化資源）②　※各グループその日の成果を発表する
【第11回】　研究対象地域の研究（歴史文化資源）③　※各グループその日の成果を発表する
【第12回】　研究対象地域の研究（調査計画・準備）①　※各グループその日の成果を発表する
【第13回】　研究対象地域の研究（調査計画・準備）②　※各グループその日の成果を発表する
【第14回】　研究対象地域の研究（調査計画・準備）③　※各グループその日の成果を発表する
【第15回】　春学期の総括と夏季休暇中の研究の進め方について

※授業の計画はあくまでも当初の予定であり、演習参加者の要望や状況に応じて、修正を加えて実施します。また、研究に関連する地域（都内及び周辺）において担当教員とフィールドワークを開催することも予定しています。